

地質 ニュース

昭和 61 年 12 月

第 388 号

1 9 8 6

小貝川堤防, またも決壊 —浸水流の挙動と氾濫の諸要因—	田 口 雄 作	10	
深沢川(栃木県茂木町)における 昭和61年8月土砂災害	池 田 宏 伊勢屋 ふじこ 小 玉 芳 敬	27	
昭和61年台風10号による大雨と 那珂川下流域の氾濫	早 川 唯 弘	40	
20周年を迎えた集団研修コース	倉 沢 一	49	
両コース20年のあゆみ	斎 藤 友三郎	50	
沿海鉱物資源探査コース集団研修の概要	武 居 由 之 木 下 泰 正	61	
地下水資源開発コース—現状と課題—	石 井 武 政 池 田 喜代治	65	
海外室だより	海 外 室	70	
小千谷 OJIYA	柳沢 幸夫 竹内 圭史 茅原 一也	小林 巖夫 立石 雅昭 加藤 碩一	72

口 絵 小貝川堤防決壊の瞬間 倉 田 恒 夫
田 口 雄 作

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

小貝川またも大水害

1986年8月5日未明 堤外地満杯に流れていた小貝川の洪水流は 茨城県明野町赤浜地先の小貝橋東詰(左岸)で 道路を通すため 新しく構築された堤防よりも もともと数m低くなっていた所(写真中央)から 勢よく溢れ出しました(小貝川は 写真右から左に向かって流れています)。このため 手前側にある水田は 一気に濁流に飲み込まれてしまいました。その後も洪水流がどンドン流れ込んだため この地点で ついに堤防を約5m掘り込むように決壊しその前面に小規模な落堀を形成するまでに至りました。さらに洪水流は 水田面より高くなっていて この時点まで堤防の役割を果たしていた道路をも越えて 同日12時少し前 北側の水田方向へも逆流し始めました(写真右手前)。

小貝川では1981年8月にも 今回よりも下流の地点の茨城県竜ヶ崎市で 左岸堤防が決壊して大きな被害を出したばかりです。今回と前回の破堤を比較してみると 共通する点が多くみられ 今後の防災対策に大きな教訓を残しました。

(1986年8月5日12時30分頃撮影 朝日航洋株式会社提供)(文:田口雄作)

1月号予定目次

年頭所感

北薩 とくに菱刈の金鉱床その構造規制と生成モデル

小学生による海生哺乳動物化石発見の話題

ヒマラヤの海とその消滅—その3—

泰山鳴動してミミズ一匹

—静岡県相良町石油流出事件始末記—

中国対日鉱山物輸出の構想

地質標本館だより